

追込網漁業体験 ～芦花部小中学校にて～

令和7年7月4日・12日 大島支庁

芦花部小中学校が例年実施している追込網漁業体験について、今年度からはじめて大島支庁と名瀬漁協がコラボし、勉強会と体験学習が実施されました。

7月4日は、全校生徒36名を対象に「奄美群島の漁業について」と題して、奄美の水産業について事前授業を実施しました。

7月12日は、学校近くの有良海岸にて、追込網漁業の体験学習を行われました。大島支庁は、開会式の会場にて「追込網漁業とあまみの魚について」と題して、奄美沿岸にどのような魚が生息しているかの説明と、海の危険生物の注意喚起を実施しました。その後全員で海岸に出て、漁業者が張った網を目掛けて、大きな音を立てながら歩いて魚を追い込み、エラブチ(ブダイ類)やサザナミハギ、ベラ類等が網にかかりました。その後、獲れた魚の捌きまで行いました。

この活動を通して、子供たちに自然の豊かさや海の恵みを体感してもらえたのなら幸いです。



7/4 事前授業(芦花部小中学校)



7/12 勉強会(あった結い交流館)



7/12 追込網漁業体験(有良海岸)



7/12 獲れた魚たち
(左：網にかかった魚 右：魚捌き)